

# 香川大学四年生にインタビュー

卒業を目前に控えた四年生に、これまで学生生活や力を入れてきたことなどについてお話を聞きました。大学生活を通して得た経験や、後輩へのメッセージを紹介します。



## 教育学部 4年 藤原 悠 Fujiwara Haruka

大学では障害のある子どもとのコミュニケーションについて学び、海外研修も経験しました。将来は小学校教員になりたいと考えています。

### 大学生活で特に印象に残っている出来事

海外を訪れ、多様な文化に触れ、海外の学生と友達になれたことです。2年生の夏にオーストラリアへ語学研修に行きました。現地の方と英語で会話をしたり、先住民の生活について話を聞いたりする中で、海外への興味がさらに深まり、外国語学習への意欲も高まりました。その後、3年生の6月に協定校のコロラド州立大学から来た留学生と友達になり、8月には彼らに会いにアメリカを訪れました。さらに翌年2月には、タイのチェンマイ大学を訪問し、日本文化を通して現地の大学生や小中高生と交流したり、ホストファミリーの家でタイの暮らしや文化を体験しました。出会った人たちは皆とても優しく、私の思いを理解しようと拙い英語に耳を傾けてくれたり、難しい英語を分かりやすい表現に言い換えて教えてくれました。現在も SNS で交流が続いています。世界を飛び回りたいという気持ちは今も変わらず、今年3月には台湾の嘉義大学を訪問する予定です(^^)

### 挫折があったとき、それをどう乗り越えたか

3年生9月・10月の教育実習で挫折を経験しました。それまでの模擬授業は少人数の大学生が児童役を行っており、比較的スムーズに授業を進められていました。しかし、附属小学校に行き、実際に子どもの前で授業をすると、見通しが持ちにくい児童がいたり、一人ひとり解くスピードが異なっていたり、予想していなかった意見が出てそのまとめ方に悩みました。教科担当の先生や担任の先生にご指導いただいたり、同じ組の先輩や同級生に相談しながら授業や支援を再考し、全員が見通しを持って自分のペースで解き進められる授業になりました。また、附属特別支援学校の実習では、はじめは生徒一人ひとりに合う適切な支援が分かりませんでした。子どもの行動をよく観察して何を考えているかを予想したり、先生方の対応や支援を真似してやってみたり、先生方に相談することで、生徒が必要としている支援を理解し、行うことができました。

### 進路を選ぶうえで大切にしたい基準

自分の興味・関心に基づいて選ぶことを大切にしました。領域やゼミ選びの際には、「学修の負担が少ない」「先生が優しい」といった情報も耳にしましたが、それよりも自分が本当に学びたいと考える、障害のある子どもとのコミュニケーションについて深く学べる領域・ゼミを選択しました。その結果、様々なカンファレンスや研究大会に参加して知見を深めることができたり、卒業研究として障害を持つ子どもに対するコミュニケーション指導・支援の方法について研究をし、実践的な理解を深めることができました。卒業後の進路については、小学校教員と特別支援学校教員で悩みましたが、通常学級に在籍するグレーゾーンの子どもの抱える学習面・生活面での困難を少しでも減らしたいと考え、小学校教員になることを決めました。

### 大学生活でやっておくべきこと

ボランティアやアルバイト、海外留学など様々な経験をするということです。教師は自分の経験を子どもに話すことが多いので、ボランティアで様々な人と関わりコミュニケーション能力を高めたり、複数のアルバイトを経験して社会の仕組みを知ったり、海外留学で日本と海外の暮らしや文化の違いを知ったりし、自分の引き出しを増やすと良いと思います。大学生は自由に過ごせる時間が長く、まとまった休みを取るので、興味のあることに臆せず挑戦してほしいです！



タイ留学中の写真



# KADAIGEST

2026  
冬号

WINTER

広報学生スタッフが企画・編集・デザインをしています。

## キャンパスメンバーズ制度 をご存知ですか？

キャンパスメンバーズ制度とは、身分証明書（学生証等）を提示することで、無料または割引料金で対象施設を利用できる制度のことです。香川大学は、香川県及び高松市のキャンパスメンバーズ制度に加入しており、県の3つの施設・市の8つの施設で利用可能です。

対象施設は  
こちら



## 香川大学周辺 MAP

今回は対象施設の中で大学周辺にある特におすすめの4つの施設をご紹介します！



あなたも活用してみませんか？

広報  
学生スタッフ  
Rise

### 栗林公園

香川県を代表する観光地であり、文化財庭園としては日本一の広さを誇る栗林公園。美しい庭園と景観は圧巻で、季節ごとに移り変わる花々や木々を楽しむことができます。広大な庭園から自分のお気に入りの鑑賞スポットを探して、四季の変化を楽しむのもおすすめです。

### 01 史跡高松城跡（玉藻公園）

日本三大水城の一つとして知られる高松城。その城跡は現在、玉藻公園として整備され、海水を引き込んだ堀や石垣など当時の面影を残しています。落ち着いた園内を散策しながら、高松城にまつわる歴史を感じることができます。歴史好きな方、いつもの散歩をより楽しみたい方におすすめです。

### 02 香川県立ミュージアム

香川県立ミュージアムは歴史博物館と美術館の機能を合わせた総合的なミュージアムです。香川県の歴史を学ぶことができたり、香川県にゆかりのある作家さんの美術作品を見ることができます。大学で初めて香川県に来られた方は香川県立ミュージアムで香川について学んでみませんか？

### 03 高松市美術館

高松市美術館は丸亀町商店街にほど近い都市型美術館で1700点以上のコレクションが展示されています。1/31~3/29には特別展「アニメーション美術の創造者 新・山本二三（やまもとにぞう）展～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女～」を開催しています（特別展については団体料金での入場となります）。興味のある学生はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

# H.O.P. (大学祭実行委員会)

2026年 **新代表決定!** 新代表の平井さんと前代表の浅居さんにお話を聞きました。



2025年の大学祭も大盛況でした!



お互いの印象はどうか。

**浅居:**しっかり丁寧に仕事をしてくれてとても信頼しています。笑顔もかわいく私の癒しです(笑)

**平井:**最初は話しかけずらかったです(笑)でも幹部になり関わる機会が増えたことで、とても頼りがいのある優しい先輩だとわかりました。

お2人がH.O.P.に入部したのはなぜ?

**浅居:**新歓祭の時に一緒にいた友達に誘われたからです。大学祭実行委員会という響きも気に入ったため、入部しました。

**平井:**私はガクチカ(学生時代に力を入れたこと)に使えるサークルに入りたいと思っていたからです。本当は違うサークルに入ろうと思っていたのですが、大学祭を運営していると知り興味を持ったため入部しました。

代表としての主な活動・業務内容について教えてください。

**浅居:**大学祭の時はサークル全員分の

シフト作成、イベント管理、入場者数カウント、外部への挨拶文の作成など様々なことを行いました。私はみんなのやりたいことをサポートし、全体が同じ方向に向けるようにしていました。

2025年の大学祭のテーマは「華-bloom-」でしたがなぜそのテーマにしたのですか。

**浅居:**2024年の大学祭のテーマが「瞬き」で水色を基調としたテーマだったため、今年はピンクを基調としたテーマにしたいと思いました。ピンクと言えば私は「花」をイメージし、華やかさを演出できると思ったためこのテーマにしました。

大学祭を運営する中で1番楽しかった瞬間は?

**浅居:**私は主にデスクワークだったのですが、来場者の方々の笑顔やH.O.P.のみんなが楽しく活動をしている様子を見て私も嬉しくなりました。

**平井:**いろんな年代層の方に来て

前代表に

ひとこと

困ったときは  
いろいろと相談に  
乗ってください。

新代表に

ひとこと

大変でも  
自分で決めたことは  
貫いてほしい。

いただいて嬉しかったです。地域の皆さんの楽しそうな表情を見て私も自然と笑顔になれました。

逆に大変だったことはありますか。

**浅居:**ずっと大変でした(笑)どれだけ念入りに準備をしても、当日に何かしらのトラブルは発生するのでずっと忙しかったです。最終的な判断は、代表である私がするため、最適な判断をしているか、期待に応えられているのか、とても不安でした。

**平井:**私はゲスト班だったのですが、当日ゲストの方をお呼びした際、リハーサルと違う動きがあり冷や汗をかきました。

HOPに入って良かったことは?

**浅居:**自分の何気ない発言が大学祭に繋がったり、会社に電話をして協賛の交渉をしたり、他のサークルでは出来ない経験をする事が出来たことです。

また、人数も多いため様々な人と関わることができました。

**平井:**大人と関わる機会が多いため、社会人としてのマナーを身に付けることができます。またガクチカにも繋がるため、入ってよかったです。

H.O.P.の代表として大切にしていた(大切にしていきたい)ことは何ですか。

**浅居:**みんなの前で辛い姿をみせないことです。私はH.O.P.のみんなが楽しく活動してほしいと思っていたため、みんなの意見をなるべく受け入れ、私はあまり口出しをしないようにしていました。リーダーとして引っ張っていくというよりも縁の下の力持ちのような存在を目指していました。

**平井:**まだ代表になったばかりでわからないことだらけなのですが、みんなが楽しく活動に参加できるよう代表として活動を行っていきたいです。一生懸命頑張りますので、先輩にも温かく見守っていただけたらと思います。

新代表

第18代 H.O.P. 代表

創造工学部 2年

平井 温

Hirai Nodoka

岡山県立玉島高等学校出身

楽しくにぎやかなサークルにしたいです!



前代表

第17代 H.O.P. 代表

経済学部 3年

浅居 美行

Asai Miyuki

岡山県 私立山陽学園高等学校出身

いろんなことを経験していっぱい楽しんで!

